

この本には、住宅展示場では知ることができないものが二つある。

一つは、住宅の一番大切な価値は何かということ。

二つは、「換気が主、冷暖は従」という家づくり、すなわち「涼温な家」である。

知って建てるか、知らないで建ててしまうのか、一家の幸せはまるで違ったものになる。

はじめに

「いい家が欲しい！」という願いを実現するためには、どうしても知らなければならぬことが二つあります。

一つは、「いい家」とは健康維持・増進に役立つ上質な住み心地が確保された家であるということ。

二つは、「構造」「断熱」「換気」及び「冷暖房」の選択と組み合わせをどれか一つでも誤ったら絶対に「いい家」にはたどりつけないという法則です。

この本は、それらの真実を明らかにし、あなたとご家族に一生感謝していただける選択肢を明示するために書かれたものです。

あなたは、家に何を求めますか？

「人は思ったとおりの家を手に入れることができるし、思ったとおりの家しか手に入れることができない」のですから、この問いに迷いのない答えを用意

できてから住宅展示場へ行くのが賢明です。

家づくりで何よりも大切にすべきものは上質な住み心地です。

住み心地を問わない建物は、事務所か倉庫と同じです。住み心地こそが住宅のいちばん大切な価値なのです。

くり返しますが、住み心地は、換気と冷暖房の組み合わせによって驚くばかりに変わるのは事実です。第三種換気とルームエアコン・床暖房との組み合わせは最悪です。

この事実を知らないで建てたら大損をします。

この本がお薦めする「いい家」すなわち「涼温な家」を造るには、構造を木造軸組とし、断熱の方法は基礎を含めて外断熱（外張り）とします。換気は世界でも類を見ないセンターダクト方式による新しい換気方式です。

「新換気」（特許）は、第一種全熱交換型換気を用い、給気を小屋裏から床下へと通した垂直ダクトで行い、排気は部屋の外周に近い天井から行うことで換気経路（空気の流れ）を従来とは正反対にしたところに最大の特徴がありま

す。そうすることで、家中を合理的、効果的に換気することができ、住み心地の質が格段に向上し、住む人の健康と構造の長寿命化に役立つのです。

この「センターダクト換気」にエアコンを組み合わせたのが「涼温換気」（特許）、すなわち「涼温な家」です。小屋裏に設置した一台のエアコンで全館涼温房にすることができるので、ルームエアコンが不要となり、冷・暖房の風や音、生活臭に悩まされずに家中が快適になるという画期的な方法です。

「涼温な家」は、全館空調の家と違って、「換気が主、冷暖は従」とすることで「全館涼温房」を実現しました。四季はもちろん、梅雨と秋の長雨の時期に地下室でも、爽やかな空気感を満喫できます。

しかも、冷暖房にかかる費用は安く、装置の扱いは極めて簡単です。

ぜひ、ご家族おそろいで「住み心地体感ハウス」へお越しください。空気感、冷暖感が肌に合うか否かを確かめるのはとても大事なことです。

「いい家」の体感を二回、三回と積み重ねると、住み心地に対する感性が驚くばかりに豊かになります。それから再度、住宅展示場を回ってみると、住み

心地の質の差がはっきりとわかるようになり、納得が深まります。

この本には、四冊の副読本があります。

拙著「家に何を求めるのか」(三省堂書店、二〇二一年二月発行、第四刷が最新)、『いい家』それは涼温な家」(三省堂書店、二〇二〇年二月発行、改訂版初刷が最新)、松井祐三著「改訂新版 だから『いい家』を建てる。」(大和書房、二〇一九年一〇月発行、第四刷が最新)、久保田紀子著「新・改訂版 さらに『いい家』を求めて」(ごま書房新社、二〇一八年三月発行、初版が最新)です。

二〇二二年三月三日

松井修三